

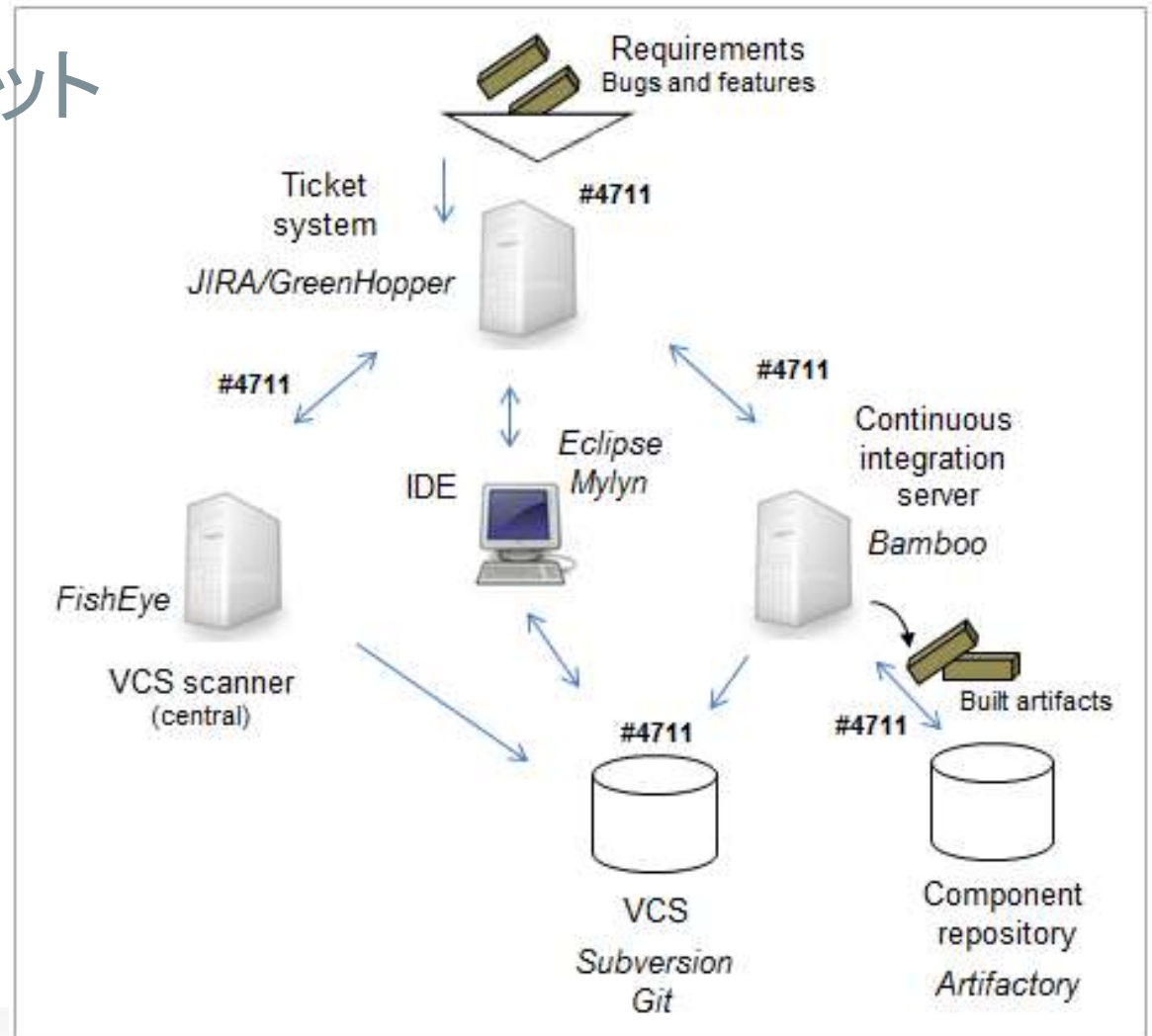
2. ツールチェーンとアプリ連携

ツールチェーン

- 起点はJIRAチケット

- No ticket, no work
- トレーサビリティ
 - ISO規格が進む

- 双方向リンク



JIRA (ジラ) は、あなたの「課題」の優先順位付け、割り当て、追跡、報告、そして監査を可能にする課題/バグトラッカーです。ソフトウェアの不具合、ヘルプデスクチケット、プロジェクトのタスクや変更リクエストなど、課題の種類は問いません。プラグインとオープン API を組み合わせることで、JIRA を他のアプリケーションと簡単に接続できます。それにより、ビルド、ソースの変更、コードレビューなどに開するダッシュボードが利用可能になります。

Confluence (コンフルエンス) は、シンプルかつパワフルな企業向け Wiki です。チーム内でのページ、ドキュメント、さらにはリッチコンテンツの共有が可能になります。Confluence と他の製品を統合し、例えば JIRA ガジェットや Bamboo ビルドの結果を表示することも簡単に行えます。Confluence は数多くの企業レベルの管理機能を備えています。ページやスペース単位でユーザーやグループの閲覧/編集権限を管理可能です。

FishEye (フィッシュアイ) は、ソースコードを Web 上にアップし、Subversion、CVS、もしくは Perforce ソースコードレポジトリの履歴全体のインデックスを作成します。成果物ごとのユニーク URL の作成、可視化の生成、構造化検索およびレポート作成の有効化が可能です。さらには開発者が利用しやすい統合 API を備えています。FishEye のカスタムメールおよび RSS ウォッチ機能により、コミットの監視が簡単に行えます。また、コードの各行の種類、場所、および所有者の分析も容易です。これらは Web ブラウザから直接行えます。

Bamboo (バンブー) は、あなたのソフトウェアのビルド作成やテスト処理を自動化する継続的インテグレーションサーバーです。Amazon EC2 を使用しているクラウド内のリモート エージェントを実行できるので、即時にスケラビリティと柔軟性を提供します。Bamboo は、変更がコミットされた際のメール、インスタントメッセージ、もしくは RSS での手軽なフィードバック機能を備えています。また、双方向インスタントメッセージ機能は、不具合が発見された際の速やかな対応をお手伝いします。

Clover (クローバー) は、カバレッジ分析を新たなレベルへ引き上げます。あらゆるテストの欠点や無駄を即座に指摘し、各テストが評価対象のコードを実際に評価しているかを確認します。テスト最適化により、テストの優先順位付けが自動で行われ、追加された変更をカバーするためのテストのみを実行されます。これにより、テスト品質を損なうことなく素早いフィードバックを可能にします。Ant、Maven、Eclipse および IDEA とのシームレスな統合をご利用いただけます。

Crucible (クルーシブル) は、効率的なピアコードレビューのための軽量なコラボレーションツールです。コード内の潜在的な問題を発見した場合、コメントを残したいコードの行を選択し、コメントの入力をするだけで、もしくは、他ユーザーのコメントに返信します。メールや RSS による通知は、即座なフィードバックを開発者に伝えます。コードレビューのコメントの閲覧や操作をするのに自分の統合開発環境から離れる必要はありません。



該当ソースへの課題のリンク付け

JIRA 課題とレポジトリ内のソースコード間の直接接続を FishEye 経由で確認できます。課題に関連する各チェックインの変更ログの追跡、過去 7 日間、30 日間、もしくは 90 日間のチェックインのボリュームの追跡、さらには作成者や課題別のコミット アクティビティを表示するプロジェクト チャートの閲覧が可能です。

ビルドと課題メトリックスのコラボレーション

Confluence を使用することでコラボレーションが簡単になります。また、JIRA のロードマップ、ワークフロー、タスク、さらには成功した Bamboo ビルドの共有ができます。それ以外にも、作業の文書化も可能です。ダッシュボード上では、オープンな課題とクローズした課題の対比グラフの作成、Bamboo の統計の作成、そして処理に関するドキュメントや機能要件の直接課題へのリンク付けも可能です。

プロジェクトレポート

Bamboo と JIRA を組み合わせることで、あなたの課題に影響するビルドは失敗した際、すぐに把握可能です。そして、各ビルドにおける対応済み課題の追跡も簡単に行えます。それ以外にも、成功したビルドの把握、および詳細なビルド情報へのリンク作成が素早く行えます。

課題単位のピアレビュー

Crucible を使用することで、あなたがクローズした各 JIRA 課題のコードレビューを確認できます。それ以外にも、まだレビューが必要な課題を把握可能です。関連するコードレビューのコメントへ課題を直接リンク付けたり、論争中の課題 (コードレビューのコメントを多く集めている課題) を把握したり、さらには解決済み課題のうち、レビューが必要なものを割り出したりすることができます。

各ビルドのコードカバレッジをトリガー

Bamboo と Clover を組み合わせて使用することで、テストカバレッジおよびコード品質に関する自動レポートを取得できます。テスト最適化を活用することで、開発サイクルの短縮、納品前の不具合の発見、さらには作業中にコード品質に関する貴重な洞察を取得することが可能です。



アトラシアン製品は関係が得意
各製品はスタンドアローンで使用して魅力的な製品となるよう設計されていますが、一緒に使うことによりさらに役立つものになります。
無料の API コネクターや OpenSocial ガジェットにより関係させると、各製品はさらに便利になり、相当な生産性の向上が見込めます。
よく使われる例を左側で説明しています。関係性についてのさらなる情報は、www.atlassian.com/better-together をご覧ください。



Crowd (クラウド) は、ユーザー管理を簡略化するためのシングルサインオンソフトウェアです。アプリケーションおよびディレクトリ間のユーザー設定や認証機能を提供します。LDAP、OpenID、SAML など、標準的なシステムに幅広く対応しています。Crowd は、管理者のためにユーザーの認証と承認を簡略化します。ユーザー、Web アプリケーション、そしてディレクトリを必要に応じて増やすことが可能です。これらの操作は、直感的なインターフェイス上のみで行えます。

JIRA Studio (ジラスタジオ) は、オールインワンの統合アジャイル開発スイートを提供するために、アトラシアンの世界クラスの 6 つの開発アプリケーションを Subversion ソースコントロールと組み合わせたものです。課題トラッキングの JIRA、ドキュメンテーションの Confluence、ソースコード管理、閲覧の FishEye と Subversion、ピアコードレビューの Crucible、アジャイルプロジェクト管理の GreenHopper、そして ID 管理の Crowd を組み合わせた。このアプリケーションスイートは、ソフトウェア開発ライフサイクル全体にわたり技術チームを導きます。



よく使うアプリ連携

- JIRA+Confluence連携
- JIRA+FishEye連携
- JIRA+Crucible連携
- JIRA+Bamboo連携
- Gadget連携
- IDEから
- ブラウザから

アプリ連携の前提

- 以下のバージョンからApplication Links(AppLinks)が利用可能
 - 設定が楽になった
 - ユーザー名(ユーザーID)を合わせるのが楽
 - 古いversionの場合は「信頼されるアプリケーション」で設定

	Bamboo	Confluence	Crucible	FishEye	JIRA
AppLinks 3.2		✓ Confluence 3.5	✓ Crucible 2.4	✓ FishEye 2.4	✓ JIRA 4.3
AppLinks 3.3					
AppLinks 3.4	✓ Bamboo 3.1				
AppLinks 3.5		(Confluence 4.0)			(JIRA 4.4)

アプリ連携方法

- 分かりやすいウィザード形式1

The screenshot shows the 'アプリケーション リンクの追加' (Add Application Link) wizard in the Atlassian administration interface. The wizard is in '手順 1' (Step 1) and is titled '別のサーバーへのリンク' (Link to another server). It displays the Atlassian logo and a server ID 'ec2-176-34-28-51'. A diagram shows a bidirectional arrow between the Atlassian logo and a question mark, indicating a connection to another server. Below the diagram, there is a text input field for 'サーバー URL *' (Server URL) with the value 'http://176.34.28.51/jira/'. An example URL '例. http://jira.mycompany.com' is provided below the input field. At the bottom right, there are buttons for '次' (Next) and 'キャンセル' (Cancel).

アプリ連携方法

- 分かりやすいウィザード形式2

The screenshot shows the 'アプリケーションリンクの追加' (Add Application Link) wizard in the Atlassian admin interface. The wizard is in step 2 of 3, titled 'JIRA へのリンク' (Link to JIRA). It shows a bidirectional link between the local server (ec2-176-34-28-51) and 'Demo JIRA'. Below the diagram, there is a checkbox for 'Demo JIRA からこのサーバーへ戻るリンクを作成します。' (Create a link back to this server from Demo JIRA), which is checked. A note states that this requires system administrator credentials in Demo JIRA. There are input fields for 'ユーザー名 *' (admin) and 'パスワード *' (masked). At the bottom, there is a field for '相互リンクの URL' (http://ec2-176-34-28-51.ap-northeast-1.com) and navigation buttons: '前へ', '次', and 'キャンセル'.

アプリ連携方法

- 分かりやすいウィザード形式3

The screenshot shows the 'アプリケーション リンクの追加' (Add Application Link) wizard in step 3, 'ユーザーと信頼の設定' (User and Trust Settings). The wizard is overlaid on a dashboard with a sidebar menu on the left containing items like '一般設定', 'バックアップの管理', 'プラグイン', '言語', 'ショートカット リンク', '外部ガジェット', 'グローバル テンプレート', 'テンプレートのインポート', 'メール サーバー', 'ユーザー マクロ', '添付ファイルの保存場所', 'スパム防止', 'PDF エクスポート言語サポート', '既定のスペース コンテンツ', 'Configure Whitelist', 'Office コネクタ', 'WebDAV Configuration', 'セキュリティ', 'セキュリティ設定', 'ユーザーの管理', 'グループの管理', and 'グローバル権限'. The wizard's progress bar shows '手順 1', '手順 2', and '手順 3' (highlighted). The main content area has two radio button options:

- サーバーはユーザーおよびユーザー名の同じ集合を持っています。

- サーバーは異なるユーザーまたはユーザー名の集合を持っています。


Below the options are two additional radio button options:

- これらのサーバーはお互いを完全に信頼しています。
どのサーバーも任意のユーザーとしてリモート要求を行うことができます。特に公開サインアップを有効にしている場合は、[セキュリティへのリンク](#)についての続きを読む。
- これらのサーバーの間には信頼関係がありません。

At the bottom of the wizard are three buttons: '前へ', '作成', and 'キャンセル'.

アプリ連携方法

- 分かりやすいウィザード形式4

管理機能への一時アクセス権があります。不要な場合は [アクセスを破棄](#) します。詳細については、[マニュアル](#)を参照してください。

ダッシュボード > 管理 > アプリケーションリンク

閲覧 Administrator 検索

アプリケーションリンク

構成

- 一般設定
- バックアップの管理
- 参照元の管理
- プラグイン
- 言語
- ショートカットリンク
- 外部ガジェット
- グローバル テンプレート
- テンプレートのインポート
- メール サーバー
- ユーザー マクロ
- 添付ファイルの保存場所
- スパム防止

信頼されたアプリケーション を使用する 'Demo JIRA' への双方向リンクを作成しました。その後、Confluence スペース を JIRA プロジェクト にリンクする必要があります。Confluence スペース 管理ページからこれを実行することができます。

アプリケーションリンクの設定 ?

+ アプリケーションリンクの追加

名前	アプリケーション	アプリケーション URL	受信認証 ?	送信認証 ?	アクション
 Demo JIRA	JIRA	http://176.34.28.51/jira	信頼されたアプリケーション	信頼されたアプリケーション	構成 削除

JIRA+Confluence連携

- ドキュメントにJIRAの情報を埋め込み
 - リリースノートや報告書に便利

管理機能への一時アクセス権があります。不要な場合は [アクセスを破棄](#) します。詳細については、[マニュアル](#)を参照してください。

ダッシュボード > DEMO > JIRA との連携テスト 閲覧 Administrator Confluence を検索

Code マクロのテスト
 ユーザー2による追加 ページのテスト

JIRA との連携テスト 編集(E) 追加 ツール

作成者: Administrator 最終編集者: Administrator 最終編集日: 2011/11/05 [変更を表示](#)

Type	Key	Summary
	HIGUCHI-1	LAN線を502号室とつなげる
	DEMO-5	世代数が未設定の場合にNPEが発生する
	DEMO-4	パスワードの履歴機能
	DEMO-3	これだけでは足りません。もっと修正してください。
	DEMO-2	パスワードが有効期限切れの場合にシステムエラーとなってしまう
	DEMO-1	TEST1

Page 1 of 1 6項目中 1 から 6 までを表示しています

なし

JIRA+Confluence連携

- JIRAの情報を埋め込む時もウィザードで簡単
 - 文字列の検索、課題作成可能

管理機能への一時アクセス権があります。不要な場合は [アクセスを破棄](#) します。詳細については、[マニュアル](#)を参照してください。

ダッシュボード > DEMO

JIRA 課題の挿入

最近の表示

課題の新規作成

検索

パスワード

検索

JQL、課題キー、またはブレン テキストを使用して検索

Key	Summary
DEMO-4	パスワードのヒストリー機能
DEMO-2	パスワードが有効期限切れの場合にシステムエラーとなってしまう

すべてのクエリ結果をテーブルで挿入

ヒント：エディター内で "Ctrl+Shift+J" を押下するとこのダイアログにすぐアクセスできます

挿入 キャンセル

JIRA+Confluence連携

- 編集も画面から...プレビューで確認

編集 - JIRA との連携テスト - DEMO - Demonstration Confluence - Google Chrome

編集 - JIRA との連携... 新しいタブ

176.34.28.51/confluence/pages/editpage.action?pageId=1998851

ricksoft helpdesk GoogleApps 社内JIRA 社内Wiki Service SCE JIRA STUDIO... PlayStation Store... その他のブックマーク

管理権限への一時アクセス権があります。不要な場合は アクセスを破棄 します。詳細については、マニュアルを参照してください。

ダッシュボード DEMO JIRA との連携テスト 閲覧 Administrator Confluence を検索

JIRA との連携

'JIRA 課題' マクロの編集

プレビュー 更新

Type	Key	Summary
Not Found		
The requested URL /plugins/servlet/issue-retriever was not found on this server.		
Apache/2.2.3 /CentOS Server at 176.34.28.51		

JIRA 課題のフィールドを取得した結果をページに整約するマクロ マニュアル

URL *

`http://ec2-176-34-28-51.ap-northeast-1.com`

これは、JIRA の課題ナビゲーターの XML リンクからコピーすることができます。

表示する JIRA フィールドの列

`type, key, summary`

JIRA フィールドの列のコンマ区切りのリスト。例: type, key, summary

合計数のみ表示

このオプションが選択されている場合、課題を単一で表示しません。

キャッシュ

`off`

キャッシュをオフにすると、このマクロはロード時に JIRA 課題の内部キャッシュをリフレッシュするようになります。

匿名検索

このマクロは閲覧制限のない JIRA 課題のみを表示します。

戻る 保存 キャンセル

検索制限 添付ファイル ラベル

項目を変更しましたか? ウォッチャーに通知 プレビュー > 保存 キャンセル

* コメント "隠" に付けても再入力することで、ユーザーをログインできます。

JIRA+FishEye連携

- JIRAチケット(バグ)を基に修正したソース



世代数が未設定の場合にNPEが発生する

編集 割り当て 自分に割り当てる コメント その他の操作 ▼ 課題のクローズ 課題を再オープンする ワークフロー ▼

▼ 詳細

タイプ:	サブタスク	ステータス:	解決済み (View Workflow)
影響バージョン:	なし	解決状況:	修正済み
コンポーネント:	なし	修正バージョン:	なし
ラベル:	なし		

▼ 説明

Created by Administrator from Crucible comment <http://176.34.28.51/fisheye/cru/CR-5#c8> :

世代数が未設定の場合にNPEが発生する

▼ アクティビティ

すべて コメント 作業ログ 履歴 アクティビティ ソース レビュー

Crucible レビューの作成 このチェンジセット Default Project ▼

▼ Akira Higuchi 送信した変更セット 12 終了 root: in demo_repo (1 ファイル) - 2011/11/30 09:47

⊕ CR-5

DEMO-5 世代数が未設定の場合のテストが終わりました

test_dir/HttpAuthenticatorImpl.java (+1 -1) ▲ 目 目 目

▼ ピープル

担当者: Admi
報告者: Admi
投票 (0) ウ

▼ 日付

作成済み: 今
更新済み: 今
解決済み: 今

JIRA+FishEye連携

- 前画面で△を押して差分表示

Webpage screenshot

The screenshot displays the FishEye interface for a file named `HttpAuthenticatorImpl.java` in the `demo_repo / test_dir` path. The interface is split into two panes to show a diff. The left pane shows the original code, and the right pane shows the modified code. A green highlight is visible on line 51 of the right pane, indicating a new comment: `// パスワードのヒストリー機能を追加`. The code includes imports for `HttpAuthenticatorFactory` and `SecurityServerClient`, and defines a `HttpAuthenticatorImpl` class implementing `HttpAuthenticator`. The diff shows changes to the class structure, including the addition of the new comment and adjustments to the constructor and `invalidateClient` method.

Atlassian FishEye Subversion analysis with Crucible code review. [Version:2.7.5 Build:20111021003431 2011-10-21] - Administration - Page generated 2011-11-30 12:46 +0900

http://176.34.28.51/fisheye/browse/demo_repo/test_dir/HttpAuthenticatorImpl.java?r1=8&r2=11&u=3

JIRA+FishEye連携

- FishEyeのソース履歴からJIRA情報を参照

The screenshot shows the FishEye interface for a project named 'demo_repo' and a specific file 'HttpAuthenticatorImpl.java'. The interface displays a list of revisions for this file. A popup window is open over revision 11, showing details for a JIRA issue titled 'DEMO-4: パスワードの履歴機能'. The popup includes the issue status, reporter, assignee, and a detailed description in Japanese. The main interface also shows other revisions with their respective commit messages and timestamps.

Revision	Author	Commit Message	Time
12	Akira Higuchi	DEMO-5 世代数が未設定の場合のテストが終わりました	09:47
11	Akira Higuchi	DEMO-4 単体テストが終わりました。	09:36
10	Akira Higuchi	DEMO-4: パスワードの履歴機能	06:11
9	Akira Higuchi	DEMO-4: パスワード管理に、履歴機能を追加して下さい。世代数は管理画面から変更できるようにしてください。	05:11
8	Akira Higuchi	DEMO-4: パスワード管理に、履歴機能を追加して下さい。	05:11

JIRA+Crucible連携

- Crucibleでレビューを開始

The screenshot displays the JIRA and Crucible interface. At the top, the navigation bar includes 'Dashboard', 'Source', 'Projects', 'People', and 'Reviews'. The user is logged in as 'Administrator'. The main content area shows a review for 'DEMO-4 パスワードのヒストリー機能対応レビュー' (DEMO-4 Password History Function Support Review). The review is 'Under Review for 2 hours (due in 6 days)'. The author is 'Akira Higuchi' and the reviewer is 'Administrator'. The review progress bar shows a green segment for 'Under Review' and a grey segment for 'Completed'. The code being reviewed is in the file '/test_dir/HttpAuthenticatorImpl.java'. The review shows three comments: a comment from Akira Higuchi at line 8, a comment from Akira Higuchi at line 11 with a red highlight, and a comment from Administrator at line 12. The Administrator's comment states: '世代数が登録されていない場合に NPE になってしまうので修正してください。' (Please fix it because it will cause NPE when the generation number is not registered). The code snippet shows a Java class 'HttpAuthenticatorImpl' implementing 'HttpAuthenticator' with a 'private static final Logger logger'.

JIRA+Crucible連携

- CrucibleレビューからJIRAサブタスク(レビュー)を作成

Webpage Screenshot

The screenshot shows the Crucible interface for a code review. The review is titled "DEMO-4 パスワードのヒストリー機能対応レビュー" and is currently "Under Review for 2 hours (due in 6 days)". The review is for the file "HttpAuthenticatorImpl.java" in the "test_dir" directory. The interface includes a navigation menu, a progress bar, and a table of participants.

Participant	Role	Time Spent	Comments	Latest Comment
Akira Higuchi	Author & Moderator	7m		
Administrator	Reviewer - 100% complete	8m	2	世代数が未設定の場合にNPEが発生する
Total		15m	2	

Files: 1
Linked Issue: [DEMO-4 - パスワードのヒストリー機能](#)

Objectives [Edit](#)
No objectives entered. Objectives let your reviewers know what the goals of the review are and guide their feedback. [Add some objectives.](#)

General Comments [Add a general comment.](#)

Administrator says: 09:41
世代数が未設定の場合にNPEが発生する
[Reply](#) [Leave Unread](#) [DEMO-5: Resolved](#)

Atlassian FishEye analysis with Crucible code review. (Version:2.7.5 Build:20111021003431 2011-10-21) - Administration - Page generated 2011-11-30 12:24 +0900

<http://176.34.28.51/fisheye/cru/CR-5>

JIRA+Crucible連携

- JIRAチケット(バグ)のサブタスクとしてサブタスク(レビュー)

The screenshot shows a JIRA issue page for a sub-task. The issue title is "世代数が未設定の場合にNPEが発生する" (NPE occurs when the number of generations is not set). The issue is a sub-task of a parent issue. The status is "解決済み (View Workflow)" (Resolved). The assignee is Administrator. The issue was created by Administrator from a Crucible comment. The description states "世代数が未設定の場合にNPEが発生する". The activity section shows a review activity for the sub-task.

JIRA Akira Higuchi | クイック検索

ダッシュボード | プロジェクト | 課題 | アジャイル | + 課題の作成

Demonstration Project / DEMO-4 パスワードのヒストリー機能 / DEMO-5
世代数が未設定の場合にNPEが発生する

編集 | 割り当て | 自分に割り当てる | コメント | その他の操作 | 課題のクローズ | 課題を再オープンする | ワークフロー | ビュー

詳細

タイプ:	サブタスク	ステータス:	解決済み (View Workflow)
影響バージョン:	なし	解決状況:	修正済み
コンポーネント:	なし	修正バージョン:	なし
ラベル:	なし		

ピープル

担当者:	Administrator
報告者:	Administrator
投票 (0)	ウォッチ (0)

日付

作成済み:	今日 09:42
更新済み:	今日 09:48
解決済み:	今日 09:48

説明

Created by Administrator from Crucible comment <http://176.34.28.51/fisheye/cru/CR-5#c8> :

世代数が未設定の場合にNPEが発生する

アクティビティ

すべて | コメント | 作業ログ | 履歴 | アクティビティ | ソース | レビュー

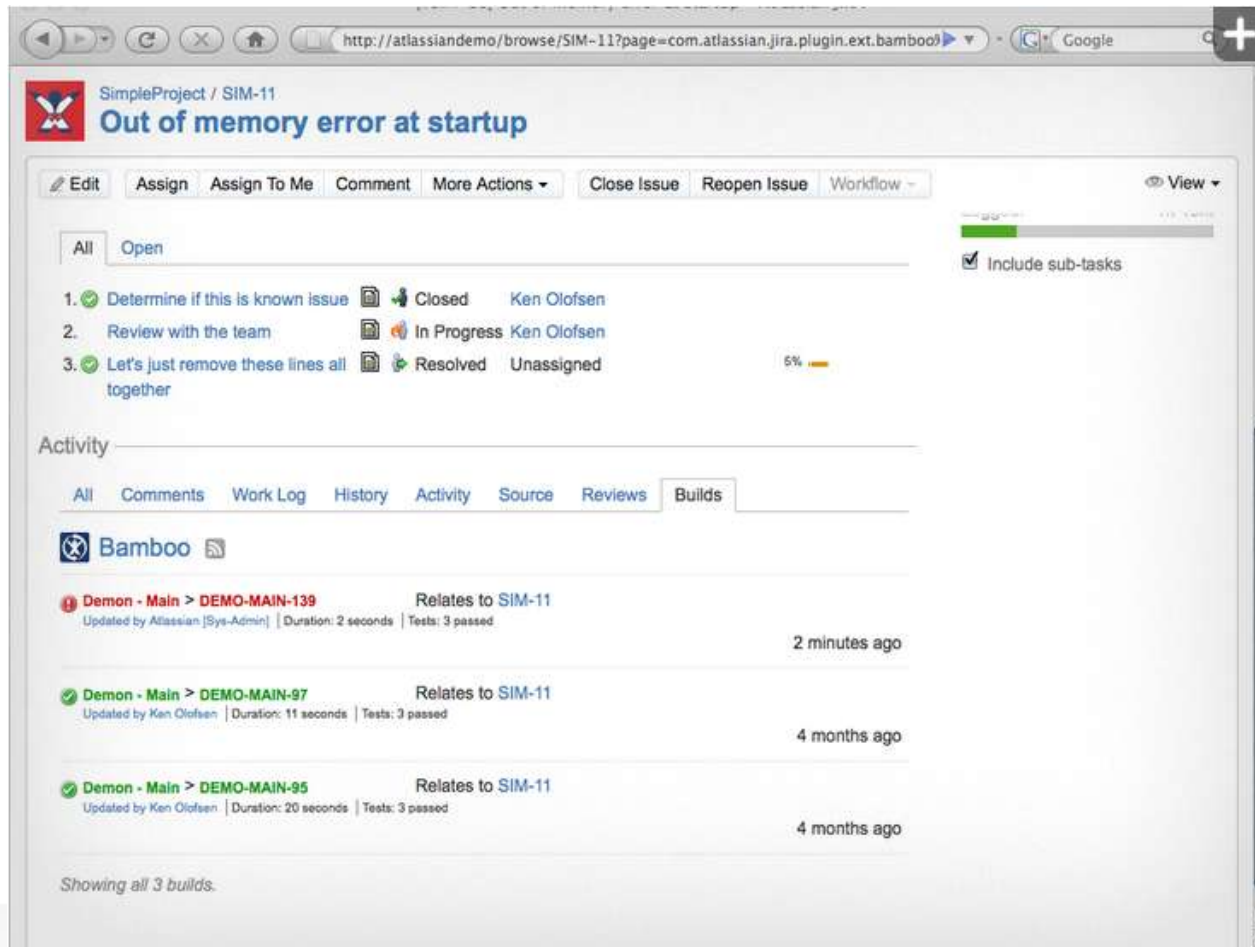
CR-5 レビュー中

DEMO-4 パスワードのヒストリー機能対応レビュー

コメント

JIRA+Bamboo連携

- この修正はどのビルドに含まれるか？



The screenshot shows a JIRA issue page for 'SimpleProject / SIM-11' with the title 'Out of memory error at startup'. The issue is in the 'Open' state. The workflow consists of three steps: 1. 'Determine if this is known issue' (Closed, Ken Olofson), 2. 'Review with the team' (In Progress, Ken Olofson), and 3. 'Let's just remove these lines all together' (Resolved, Unassigned). The progress bar shows 5% completion. Below the workflow, the 'Activity' section is active, showing a list of builds from Bamboo. The builds are: 1. 'Demon - Main > DEMO-MAIN-139' (Updated by Atlassian [Sys-Admin], Duration: 2 seconds, Tests: 3 passed, 2 minutes ago), 2. 'Demon - Main > DEMO-MAIN-97' (Updated by Ken Olofson, Duration: 11 seconds, Tests: 3 passed, 4 months ago), and 3. 'Demon - Main > DEMO-MAIN-95' (Updated by Ken Olofson, Duration: 20 seconds, Tests: 3 passed, 4 months ago). The page shows all 3 builds.

JIRA+Bamboo連携

- このビルドは何のJIRA課題を含むか？

The screenshot displays the Bamboo web interface. At the top, the navigation bar includes 'Dashboard', 'Authors', 'Reports', 'Create Plan', and 'Administration'. The user is identified as 'User: Charlie of Atlassian'. The main content area shows the 'Build Result Summary' for a plan named '#1'. The build status is 'successful'. The summary includes details such as the trigger ('This is the initial clean build.'), revision ID, completion time, and duration. A 'Code Changes' section indicates no changes were found. A 'JIRA Issues' section lists a single issue, 'DRA-1: Dragon slayer's equipment is defective'. A comment by 'Charlie of Atlassian' states, 'This build is related to DRA-1.' The interface also features a 'Plan Navigator' on the left and a 'History' section at the top right.

JIRA+Jenkins連携

- Jenkins側がJIRAをサポートしています。

Dashboard > Jenkins > Plugins > JIRA Plugin

JIRA Plugin

Added by Kohsuke Kawaguchi, last edited by Olivier Lamy on Aug 25, 2011 (view change)

Jenkins

- Home
- Mailing lists
- Source code
- Bugtracker
- Security Advisories
- Donation
- Commercial Support
- Wiki Site Map

Plugin Information

Plugin ID	jira	Changes	In Latest Release Since Latest Release
Latest Release	1.29	Source Code	GitHub
Latest Release Date	Aug 25, 2011	Issue Tracking	Open Issues
Required Core	1.405	Maintainer(s)	Olivier Lamy (id: olamy)

Build #10 (Jul 20, 2010 10:03:02 PM)



Changes

1. [ONTW-49 Test Plugin \(detail\)](#)
2. [ONTW-49 Test Plugin \(detail\)](#)
3. [ONTW-49 Test Plugin \(detail\)](#)

To have Jenkins update JIRA issues with back pointers to builds, you also need to configure jobs. I figured y the Apache commons project that you depend on), so that's why this is optional.

Post-build Actions

- Archive the artifacts
- Record fingerprints of files to track usage
- Publish Javadoc
- Publish JUnit test result report
- Build other projects
- Updated relevant JIRA issues
- E-mail Notification

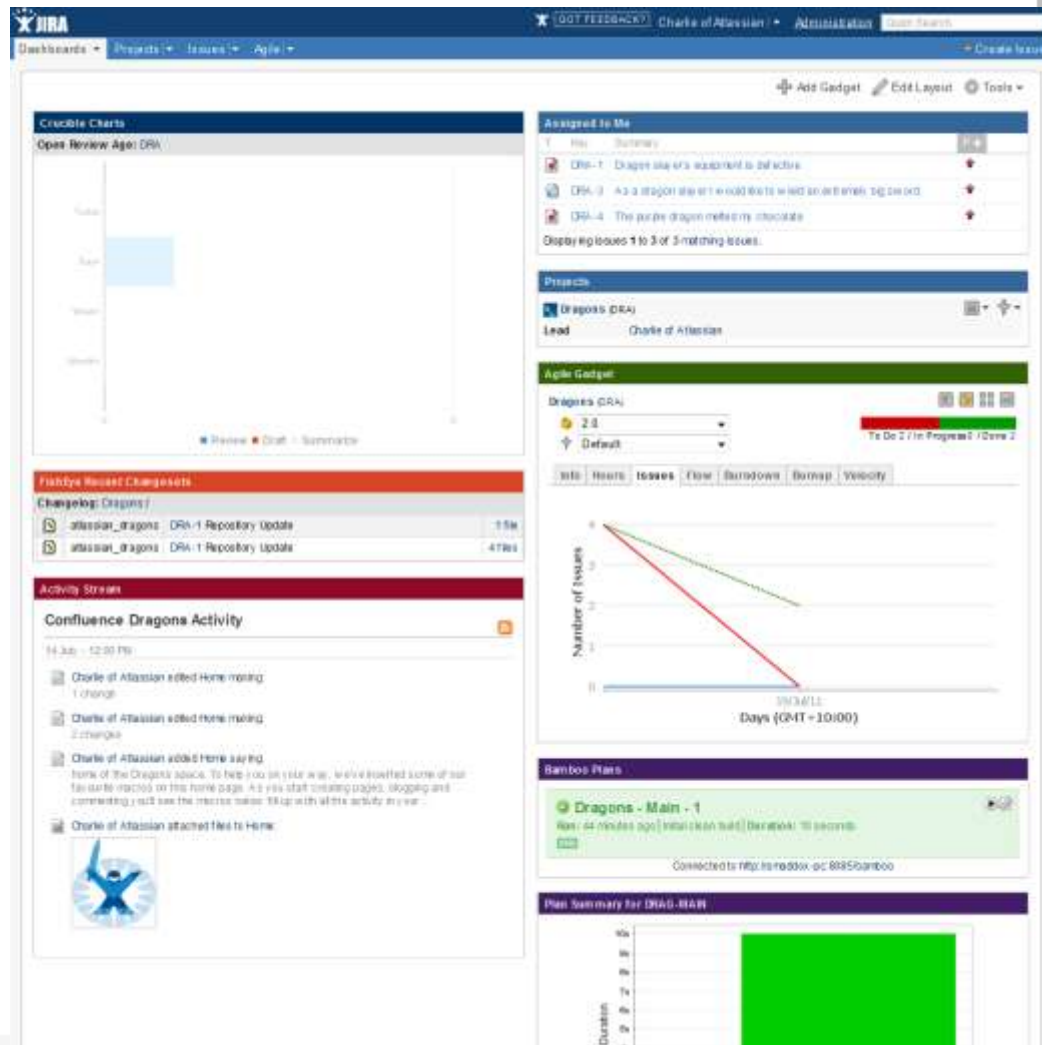
And the following screen shows how JIRA issue is updated.

[All](#) [Comments](#) [Work Log](#) [History](#) [Activity](#) [Transitions](#)

- ▼ [Rody Middelkoop](#) added a comment - 20/Jul/10 10:03 PM - Visible to [Development](#)
Integrated in InSight #10 (See [[http://](http://job/InSight/10/)]
[ONTW-49 Test Plugin](#)
[ONTW-49 Test Plugin](#)
[ONTW-49 Test Plugin](#))

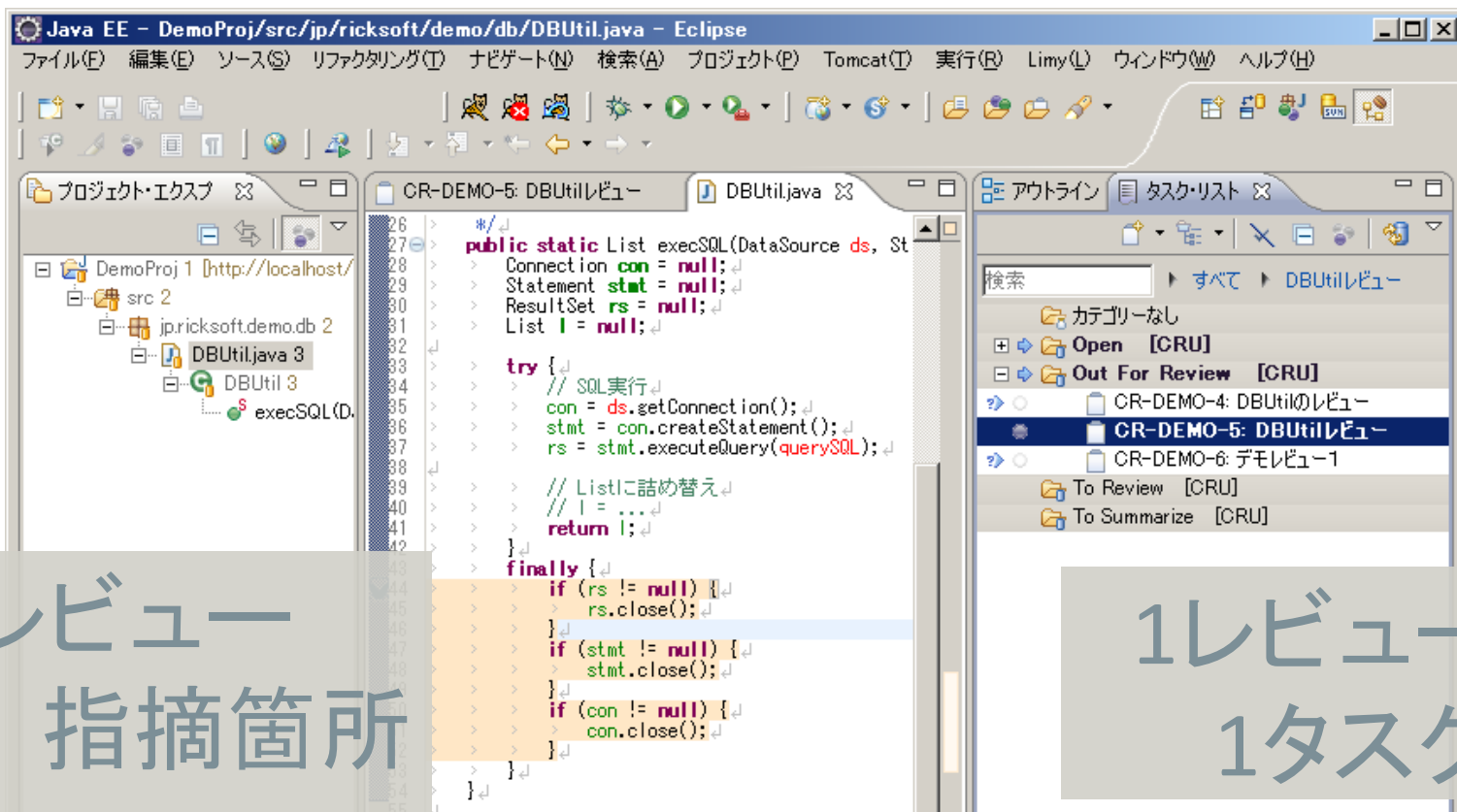
Gadget連携

- 各アプリに行くのは面倒
 - できれば1か所で...
- ## Gadgetが解決
- JIRAの1ダッシュボードで
 - 複数アプリのデータを表示



IDEから

- 無償ツール Eclipse, Visual Studio, IntelliJ



IDEから

チーム同期化 - DemoProj/src/jp/ricksoft/demo
ファイル(E) 編集(E) ソース(S) リファクタリング(T) ナビ
ヘルプ(H)

同期化 ☒
SVN (DemoProj/src/jp/ricksoft/c
CR-DEMO-5
27 >> public
28 >> Co
29 >> St
30 >> Re
31 >> Li
32 ↓> >>
33 >> >>
34 >> >>
35 >> >>
36 >> >>
37 >> >>
38 ↓> >>
39 >> >>
40 >> >>
41 >> >>
42 >> >>
43 >> >>
44 >> >>
45 >> >>
46 >> >>
47 >> >>
48 >> >>
49 >> >>
50 >> >>
51 >> >>
52 >> >>
53 >> >>
54 >> >>

タスク・リポジトリ ☒

Reply to Comment
Reply to a comment from: レビューア01

レビューア01 2010/02/13 7:58 DEFECT [Lines: 44 - 52]
rs.close()やstmt.close()でSQLExceptionが発行された場合、con.close()呼ばれず、DBコネクションが開放されない
(Defect, Classification:抜け, Rank:重大)

開発者01 2010/02/13 8:01 ✎ ✕
具体的にどうすれば良いのですか？

対応してコミットしました。

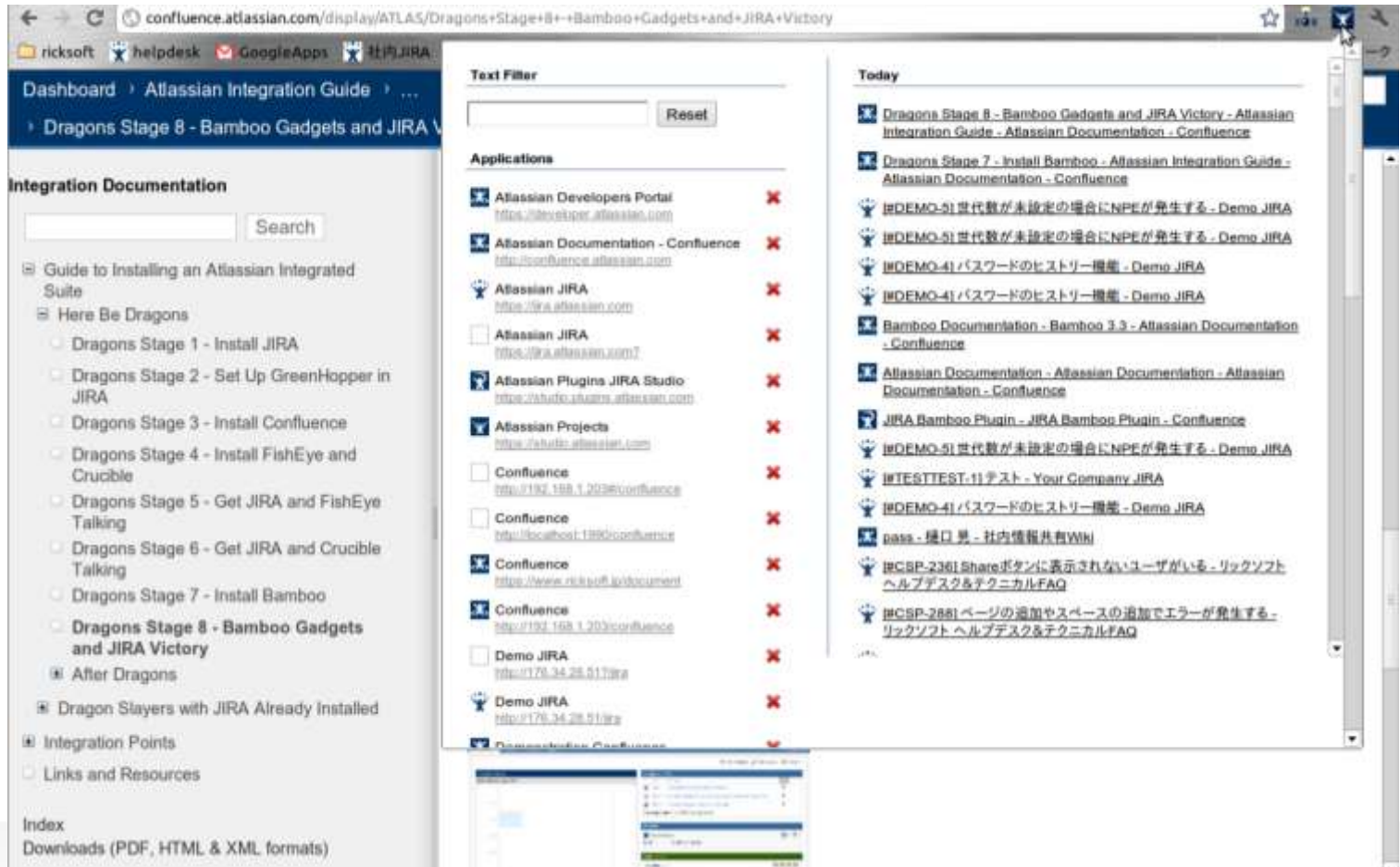
コメント
へ
応答

Post(P) Post as Draft(D) キャンセル

```
> try{stmt.close();}catch (Exception e){e.printStackTrace();}↓  
> }↓  
> if (con != null) {↓  
> try{con.close();}catch (Exception e){e.printStackTrace();}↓  
> }↓  
> }↓
```

ブラウザから

- Atlassian製品に対応したブラウザPlugin



本資料は以上です。

詳細をお聞きになりたい方は以下までお問い合わせください。

メール: sales [at] ricksoft.jp

お電話: 03-5219-1498